

世帯と人口
 (平成6年4月1日)
 世帯 38,757 (+394)
 人口 111,654人(+561)
 男 57,684人 女 53,970人

広報えびな

編集・発行
 海老名市役所秘書広報課
 〒243-04
 神奈川県海老名市勝瀬175
 ☎(0462) 31・2111

この広報紙は再生紙を使用しています。

86%が住みやすい

3千人に聞きました



8割以上の方が「住み続けたい」と回答



生活の拠点海老名駅

「市民意識調査」結果まとまる

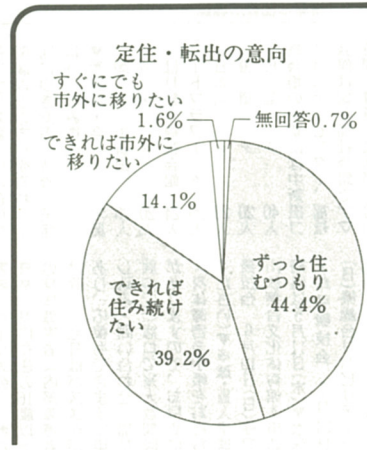
去年11月に実施した「市民意識調査」の集計結果が、このほどまとまりました。この調査は、市内在住の無作為に抽出した20歳以上の方3000人の人たちに、「海老名市は住みよい街ですか」「将来の市がどのような街であってほしいですか」などをアンケート形式でお尋ねして、日ごろ市民のみなさんが市政に対してどのようなことに関心を持っているかを把握し、今後のまちづくりに反映させるために行ったものです。今回は、この調査結果の概要をお知らせします。なお、詳しい内容は市図書館か市役所の情報コーナーで5月から閲覧できます。

「ずっと住むつもり」(44%)
 「できれば住み続けたい」(39%)

83%が住み続けたい
 定住・転出意向

10～19年が32%
 居住年数

定住性と生活環境



という定住意向を示す人は八三%でした。これを年齢別にみると、年齢が高くなるほど「住みたい」と答える人が増えています。逆に「できれば市外に移りたい」(14%)、「すぐにでも市外に移りたい」(2%)という転出意向を示す人は一六%でした。転出を望む理由としては「周りの環境が良くないから」が最も多く二七%、以下「通勤・通学に不便だから」二〇%、「生活に不便だから」一九%と続きます。これを地域別にみると「周りの環境が良くないから」は、厚木基地が近くにあり、生活に不便だから「は本郷地域で高い比率になっています。なお、「海老名市は住みよいまちだ」と思いますが」という設問には、八六%の人が「住みよい」「まあ住みよい」と答えています。

自然などを評価
 環境・施策の状況



生活環境に欠かせない公園

生活環境と施策の状況について、自然環境、交通の便、道路整備など十二の項目を設けて「良い」「普通」「やや悪い」「悪い」の五段階評価をしたところ、評価の高いものとしては「自然環境」「交通の便」「医療施設」などがあげられました。反対に評価の低いものは「騒音・振動・悪臭など」「道路整備」「公園・遊び場」などでした。

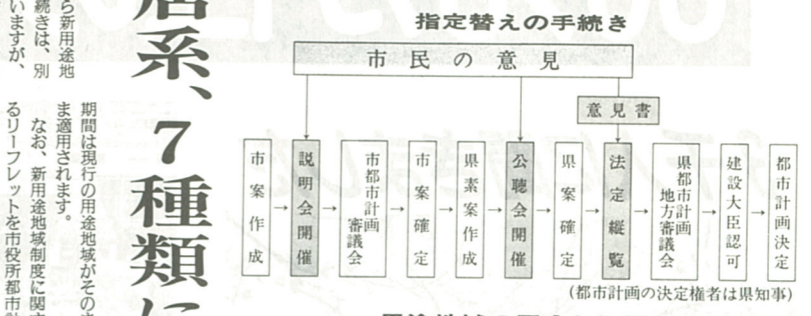
関連記事は6・7面に掲載

用途地域制度が変わります

このほど、都市計画法及び建築基準法が改正され、用途地域が現行八種類から十二種類に細分化されます。新用途地域の指定替えは、法施行日(平成5年6月26日)から三年以内に「行こう」にならなければならず、市民のみならずご意見を伺いながら指定替え作業を進めていきますので、ご協力をお願いします。

今回の用途地域制度の改正は、近年、事務所などの業務系の建築物が住宅地に進出したことによる住宅地の地価上昇や、住環境の悪化等の問題が生じたことに対し、住環境の保護や市街地形態の多様化への対応を図るために行われたものです。

具体的には、住居系の用途地域が現在の三種類から七種類にきめ細かく分けられ、用途地域全体では十二種類に区分されます。



用途地域の区分と概要

改正前(現行)区分	改正後	概要
第一種低層住居専用地域	第一種低層住居専用地域	低層住宅の良好な環境保護のための地域。小さい店舗・事務所兼住宅の立地を許容する。
第二種低層住居専用地域	第二種低層住居専用地域	150㎡までの小規模な店舗の立地が認められる低層住宅の良好な環境保護のための地域。
第一種中高層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	中高層住宅の良好な環境保護のための地域。500㎡までの店舗、病院の立地を許容する。
第二種中高層住居専用地域	第二種中高層住居専用地域	一定の利便施設の立地は認められる中高層住宅の良好な環境保護のための地域。1500㎡までの店舗・事務所の立地を許容する。
第一種住居地域	第一種住居地域	3000㎡を超える大規模な店舗・事務所の立地は制限される。住宅の環境保護のための地域。
第二種住居地域	第二種住居地域	大規模な店舗・事務所の立地も認められる。主として住宅の環境保護のための地域。道路の沿道で、自動車関連施設等と住宅が調和して立地する地域。
近隣商業地域	近隣商業地域	近隣の住宅地の住民のための店舗・事務所等の利便の増進を図る地域。
商業地域	商業地域	店舗・事務所の利便の増進を図る地域。環境の悪化をもたらす恐れのない工業の利便の増進を図る地域。
準工業地域	準工業地域	工業の利便の増進を図る地域。工業の利便の増進を図る地域。
工業地域	工業地域	主として工業の利便の増進を図る地域。
工業専用地域	工業専用地域	工業の利便の増進を図る地域。

住居系、7種類に細分化

期間は現行の用途地域がそのまま適用される。なお、新用途地域に関するリーフレットを市役所都市計画課で配布しています。

下水道処理区域を拡大

5月13日から国分南1丁目など

市では、市民のみならずご意見を伺いながら指定替え作業を進めていきますので、ご協力をお願いします。

市では、市民のみならずご意見を伺いながら指定替え作業を進めていきますので、ご協力をお願いします。

市では、市民のみならずご意見を伺いながら指定替え作業を進めていきますので、ご協力をお願いします。

市政功労者の海谷久右衛門氏死去

元市議会議長 長元町市議 功労者の海谷久右衛門氏(四十二日午後十時)心不全のため相模原市の田名病院で死去されました。八十三歳。

市の花 さつき展 開催



市の花「さつき」の美しさを多くの方に楽しんでもらうことを目的に、「第14回さつき展」を開催します。

さつき市民は、市民の観望会のほかに、市民のみならずご意見を伺いながら指定替え作業を進めていきますので、ご協力をお願いします。

心身障害者(児)へ手当支給

5月31日までに手続きを

市では、心身障害者(児)の方に次の手当を支給します。

- ① 応募作品、自己所有のさつきの盆栽
- ② 応募資格、市内在住、在勤の方
- ③ 応募方法、所定の応募用紙を公園緑地課へ五月十六日(月)までに提出してください。申し込み用紙は同課にあります。
- ④ 募集期間、五月二十八日(土)午後九時までに会場へ運ばないこと。
- ⑤ 審査、応募者市さつき研究会が審査を行います。
- ⑥ 表彰、会長賞などを選びます。五月二十八日(土)午後四時から展示会場でを行います。
- ⑦ 賞金、賞状、賞品、公園緑地課(内政)まで。

市長随想

カオグロカビチョウ

鳥は自然環境に非常に敏感です。五月は愛鳥週間(ハイ)

鳥は自然環境に非常に敏感です。五月は愛鳥週間(ハイ)

鳥は自然環境に非常に敏感です。五月は愛鳥週間(ハイ)

市民の伝言板

このコーナーに掲載される方は、原稿を併せて郵送してください。

市民の伝言板

市民の伝言板

5月21日は施設点検で休場です

大和畜場

大和畜場では、五月二十一日(土)に施設点検のため受付事務・運搬・卸荷などの業務は休場の(本人名義、郵便局は除く)。

市民の伝言板

市民の伝言板

市民の伝言板

市民の伝言板

市民の伝言板

市民の伝言板

初心者対象の婦人水泳教室 第1回



去年の婦人水泳教室から

市教育委員会では、第一回婦人水泳教室を次の要項で開催します。この教室は、水泳の初心者を対象に基本的な技術や知識を高めるとともに体力の増進、向上を図るものです。市民のみならずのご参加をお待ちしています。主催：市水泳協会

▽日時 五月二十六日、六月二日、九日、十六日、二十三日の各水曜日、午前十時～十二時四十五分(集合9時45分)

▽対象 市内在住・在勤の婦人、五日間すべて参加できる方

▽募集人員 三十人

▽会場 運動公園屋内プール(5・6・7コース)

▽持ち物 水着・水泳帽

▽申し込み方法 往復ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号及び水泳教室希望と明記のうえ市教育委員会生涯学習部体育課(〒240・04 勝浜西番地)までお送りください。

▽申し込み期限 五月十五日(必着)

5日間参加できる方どうぞ

史跡や施設を巡りながら郷土の素顔をのぞくスタンプラリーが、今年も五月十五日(日)に開催されます(雨天決行)。市南部地区を中心としたコースを企画しました。

▽集合場所・受付時間 海老名運動公園バス停前 午前九時～十一時

▽コース 海老名運動公園(1) 社家(上河内) 杉久保(今里)

▽募集人員 千人

▽費用 大人五百円、子供四百円、小学生以下無料(当日集金)

※今回のラリーでお手伝いをしていただけの方を募集しています。

▽連絡先 海老名青年会議所事務局(☎33・1805) 毎

スタンプラリー「あふるさと再発見」



ご家族や友達同士でご参加を(去年のスタンプラリーから)

市南部コースを中心に 15日

週月・火・木・金曜日の午後1時～5時

☆家族や友達同士のグループで気軽に参加できる楽しいイベントです。コース図に従って歩き、数カ所のチェックポイントでスタンプを押印していただき、ゴールに向かうというものです。コースは約7km、所要時間は約二時間です。

☆今年、史跡探訪のほかに、ふるさと海老名の産業など再発見をしてみたい方が多いため、ぜひみなさんで参加してください。

講習会 ターゲットバードゴルフ

▽日時 五月十五日、七月十日

▽会場 運動公園屋内プール(5・6・7コース)

▽対象 市民

▽参加料 無料

▽講師 県ターゲットバードゴルフ協会指導員

▽その他 ①申し込みは、当日受付簿に必要事項を記入の上参加する。②運動靴を用意してください。③クラブ、マット、ボールは貸し出しします。④雨天の場合は、グラウンド不良の場合は中止します。

スポーツ講座 ソフトボール

▽日時 五月十七日(火)～六月十四日(火)全五回 午前九時半～正午

▽会場 同センター運動広場

▽対象 市民

▽参加料 無料

▽講師 県ソフトボール協会指導員

▽その他 ①申し込みは、当日受付簿に必要事項を記入の上参加する。②運動靴を用意してください。③クラブ、マット、ボールは貸し出しします。④雨天の場合は、グラウンド不良の場合は中止します。

5月15日は「ラグビーを知る日」

は自由です。

▽日時 5月15日(日)午後1時から

▽会場 運動公園陸上競技場

3・4位決定戦=午後1時～

決勝戦=午後2時15分

この大会は、6月4日(土)・5日(日)に神奈川県で開催される「第42回関東高校ラグビーフットボール大会」の予選も兼ねています。

▽問い合わせ 第53回国民体育大会海老名市準備委員会事務局(園体準備室=内254)

☆青年初心者書道教室 書道の基礎を指導▽日時 5月17日(月)・18日(火)・19日(水) 午後7時～9時、全4回▽対象 小学生以上・20人▽申込制▽会場 公民館

☆土曜初心者書道教室 硬式テニスの基礎を指導▽日時 5月18日(火)・19日(水) 午後1時～5時、全5回▽対象 小学生以上・20人▽申込制▽会場 テニスコート

☆土曜初心者書道教室 硬式テニスの基礎を指導▽日時 5月21日(金)・22日(土) 午後7時～9時、全5回▽対象 小学生以上・20人▽申込制▽会場 テニスコート

☆初心者油絵教室 油絵の基礎を指導▽日時 5月20日(日)・21日(月) 午後2時～4時半、全5回▽対象 小学生以上・15人▽申込制▽会場 美術室

☆国際理解啓蒙講座 チャイナタウンを散策する 簡単な英会話と中国語会話を学びながらアジアのアメカを知る▽日時 5月20日(日)・21日(月) 午後7時～9時、全2回▽対象 小学生以上・20人▽申込制▽会場 公民館

※申し込み方法 直接、または電話(☎31・9787)で。

毎月第二土曜日を、親子のふれあいをねらいとして体育館及び運動広場を無料開放します。

▽日時 八月を除く午前九時～正午

▽会場 同センター

▽対象 市民(小・中学生、高校生とその保護者)

▽内容 体育館(バドミントン、卓球、運動広場(屋外種目)の自由利用)

▽申し込み 体育館は当日、運動広場は事前に申し込みを、用具、ラケット、ボール、シューズは各自用意してください。

公民館 だより



真剣なまなざしで将棋に打ち込む姿が...

楽しいひとときを過ごした

第2回子供フェスティバルに400人参加

三月十二日、市中央公民館で「第二回子供フェスティバル」が開催されました。当日は、天候にも恵まれ、多くの子供たちが参加し、楽しいひとときを過ごしていました。今回は、このフェスティバルで行われた催し物のなかから、いくつかを紹介しましょう。

将棋で「勝負の世界」を実感

ちびっこ将棋教室では、公民館講座OB会の将棋同好会の方を講師に迎えて、指導をしていただきました。

最初に、将棋の指導板を使った駒の並べ方、それぞれの駒の動かし方など、将棋の基本的なルールを学びました。

参加した子供たちは、初心者から、すでに学校のクラブ活動などで経験のある子まで、さまざまに、多少緊張した雰囲気の中で、講師の説明に真剣に耳を傾けていました。

将棋の基本的なものを学んだ後、いよいよ本戦へ。それぞれ組に分かれ、一斉に対局が始まる。会場内は、駒を指す音と、「桂馬で王手」「飛車で王手」という元気な子供たちの声があふいていました。

また、一人の講師が、同時に三人を相手に対局をできるなど、日頃味わうことのできない経験をした子供たちは、将棋に大変興味を持つことができました。

巡回おはなし会

市図書館では、次のとおり巡回おはなし会を開きます。お友達を誘ってきてください。絵本の読み聞かせに関心のあるお母さんのおいでをお待ちしております。

▷とき 5月17日(火) 午後3時20分～3時50分▷ところ 社家児童館▷対象 4歳以上のお子さん、お母さん▷内容 おはなし、絵本、紙芝居など。

紙芝居

主人公に声援!



期待に胸ふくらませ紙芝居に見入る子供たち

紙芝居を見るのは初めて、という子供たちは、身を乗り出して、紙芝居の中の主人公に声援を送っていました。また、それぞれの場面で笑い声が上がると、会場は、ほのほとした雰囲気になっていました。

紙芝居を見るのは初めて、という子供たちは、身を乗り出して、紙芝居の中の主人公に声援を送っていました。また、それぞれの場面で笑い声が上がると、会場は、ほのほとした雰囲気になっていました。

プレイ・ガイド

ウィーン少年合唱団



日本に多くのファンをもつオーストリアからの音楽の使者、ウィーン少年合唱団が来日! *天使のうたごえ。をぜひ、お聴きください。

▷日時 5月22日(日) 午後2時～4時15分▷会場 市文化会館(☎32・3231)▷入場料 A席4000円、B席3500円(全席指定、4歳以下入場不可) 前売りが売り切れた場合、当日券はありません▷主催 市・市文化会館事業協会。

ケン玉と飛行機作りに挑戦

小学生を対象にした工作教室では、三人の子供たちが竹のケン玉作り、割りばしを使った飛行機作りに挑戦しました。

竹のケン玉作りでは、普段使っている割りばしを、昔道具に慣れないコギリ、ノコギリなどの工具を使っての作業となるため、その扱い方も真剣そのもの。また、材料の竹が丸いこともあって、切るのも大変で、悪戦苦闘の様子が見られました。

割りばしを使った飛行機作りでは、カッター、接着剤などを使って使い慣れているものを使っていた。

今月のブレイク

「今は健康だと思っても、いずれは年を取ると、いろいろ悩むことになる。もっと福祉について関心を持ってほしいですね」

と話すのは、八巻晴世さん(57歳)と和田アキ子さん(50歳)。

二人は、福祉関係の仕事に就きながら、通信教育で社会福祉を学び、通信教育修了の一つとして行われた欧州視察に参加。視察で知り合った仲間四人で、毎日の仕事

福祉のイメージ明るくしたい

や欧州の福祉の現状を知りたい、つづいた本を出版した。この本の題名は、「老いを考える意味と、社会に福祉の在り方を問う呼びかけから」

「おい、福祉のカラーってどんなの?」

と名付けた。

通信教育の期間中は、夜中までレポートを書いたり、休日には福祉施設を訪ねたり、

「修了したときは、何ともいえない充実感がありました」と

欧州での福祉体験を本にした

八巻晴世さん(右)と和田アキ子さん



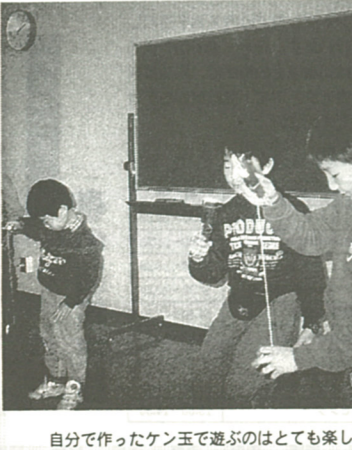
八巻さん、また和田さんは、「欧州視察で、実際に体験してきたことを日本の方にも知ってほしい」と話す。

通信教育で指導にあたった先生は、「専門家ではなく、普通の女性・市民の視点で取り上げた点が新しい」と評価している。

「本マークでは、日本でいう老人ホームが利用されているお年寄りや障害者の方たちで、管理・運営されていることには驚きました。何しろ、欧州視察では、お年寄りや障害者の方は、明るく積極的でした。日本でも、福祉のイメージを明るくしたいですね」

と話す二人は、スウェーデンでホームステイをしながら、お話をしながら、「市民」として、福祉に参加することを計画。普通の女性・市民から見た、第二弾も出版されること。

この本の問い合わせは、八巻(さつき町1-7-10) ☎32・8606へ。



自分で作ったケン玉で遊ぶのはとても楽しい

合言

特集 市民意識調査 (1面からつづく)

表③ 地域にほしい施設

病院・診療所	39.6
自然に親しめる公園	39.3
交番	33.1
高齢者福祉施設	31.7
図書館	30.9
散策路・緑道	28.5
スポーツができる公園	24.0
高齢者などが憩える公園	19.2
郵便局	19.2
プール	18.3
子供が遊べる公園	17.5
市民農園	14.9
自動車・バイク駐車場	14.0
災害時の避難場所・防災備蓄倉庫	11.8
体育館	10.8
公衆便所	7.9
自転車駐車場	7.3
地域集会施設	6.0
障害者福祉施設	5.5
保育園・幼稚園	4.2
消防署	3.4
ゲートボール場	1.0
その他	5.6
特になし	2.2
無回答	2.2

市にほしい施設

警察署	42.7
高齢者保健福祉施設	40.4
大規模な公園	25.6
老人ホーム	18.7
公民館	16.2
美術館	14.0
公民館	13.6
公民館	13.6
大学・短大	12.4
障害者福祉施設	12.2
音楽ホール	11.6
水族館	6.9
こども科学館	6.9
キャンプ場・オートキャンプ場	6.5
演劇ホール	6.4
郷土資料館	4.9
博物館	3.5
その他	2.1
特になし	2.3
無回答	2.1

言葉は便利・自然・安心

ほしい施設

市には警察署を

地域には病院・診療所を



通勤・通学に便利が56% (写真は海老名駅)

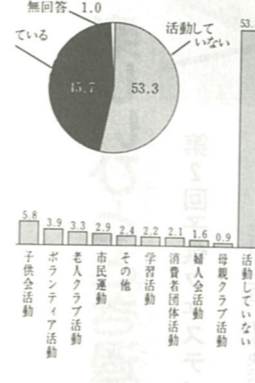
地域活動とコミュニティ

主に自治会活動とサークル活動

隣近所との付き合いについては、家族同様の付き合いをする(1)と「留守を頼んだり親しく話しをする」と答えた人が四割(40%)と最も多く、次に「自然に親しめる公園」(39%)、「交番」(33%)、「高齢者福祉施設」(31%)、「図書館」(30%)の順になっています。

これを居住地域別にみると、上今泉地域・下今泉地域、園分地域、杉久保地域、本郷地域で「病院・診療所」が一位となり、柏ヶ谷地域で「図書館」、海西地域、大谷地域で「自然公園」、社家地域で「交番」(門沢橋地域で「郵便局」)がそれぞれ一位となっています。

地域活動への参加状況



また、今後の近所付き合いについては、「家族同様の付き合いをする」と「留守を頼んだり親しく話しをする」と答えた人が四割(40%)と最も多く、次に「自然に親しめる公園」(39%)、「交番」(33%)、「高齢者福祉施設」(31%)、「図書館」(30%)の順になっています。



39% (写真は大谷近隣公園)

地域の人の活動

地域活動への参加としては、何らかの「活動」をしている人が四六%と最も多いが、「活動していない」と答えた人が五三%と半数を上回っています。

「活動している」と答えた人の活動内容としては、「自治会活動」と「スポーツ・趣味・親睦」などのサークル活動が二一%と最も多く、以下「PTA活動」(一七%)、「子供会活動」(一四%)、「ボランティア活動」(一四%)の順になっています。

広聴制度の利用

市で行っている四つの広聴制度のうち、「利用」したか「参加」したかについては、「利用・参加」した人が四六%と最も多いが、「利用・参加」しなかった人が五三%と半数を上回っています。

表② 広聴制度の利用・参加状況

利用・参加	利用	参加
市長への手紙	11.9	63.4
陳情・要望	7.2	56.1
施設めぐり	10.0	38.8
各種モニター制度	37.2	53.0

市政への関心・広聴

【周知度】が最も高いのは、「市長への手紙」で七五%を占めています。

続いて「陳情・要望」(六三%)、「施設めぐり」(四九%)、「各種モニター制度」(四〇%)の順となっています。

【周知度】が最も高いのは、「市長への手紙」で七五%を占めています。続いて「陳情・要望」(六三%)、「施設めぐり」(四九%)、「各種モニター制度」(四〇%)の順となっています。

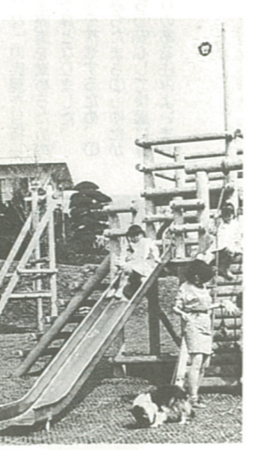
【周知度】が最も高いのは、「市長への手紙」で七五%を占めています。続いて「陳情・要望」(六三%)、「施設めぐり」(四九%)、「各種モニター制度」(四〇%)の順となっています。

【周知度】が最も高いのは、「市長への手紙」で七五%を占めています。続いて「陳情・要望」(六三%)、「施設めぐり」(四九%)、「各種モニター制度」(四〇%)の順となっています。

【周知度】が最も高いのは、「市長への手紙」で七五%を占めています。続いて「陳情・要望」(六三%)、「施設めぐり」(四九%)、「各種モニター制度」(四〇%)の順となっています。

海老名の魅力と将来像

また、住まいの近くに欲しい施設として、「病院・診療所」が四〇%と最も多く、次に「自然に親しめる公園」(三九%)、「交番」(三三%)、「高齢者福祉施設」(三一%)、「図書館」(三〇%)の順になっています。



地域に、自然と親しめる公園を

【周知度】が最も高いのは、「市長への手紙」で七五%を占めています。続いて「陳情・要望」(六三%)、「施設めぐり」(四九%)、「各種モニター制度」(四〇%)の順となっています。

【周知度】が最も高いのは、「市長への手紙」で七五%を占めています。続いて「陳情・要望」(六三%)、「施設めぐり」(四九%)、「各種モニター制度」(四〇%)の順となっています。

【周知度】が最も高いのは、「市長への手紙」で七五%を占めています。続いて「陳情・要望」(六三%)、「施設めぐり」(四九%)、「各種モニター制度」(四〇%)の順となっています。

【周知度】が最も高いのは、「市長への手紙」で七五%を占めています。続いて「陳情・要望」(六三%)、「施設めぐり」(四九%)、「各種モニター制度」(四〇%)の順となっています。

設置してほしい施設

また、住まいの近くに欲しい施設として、「病院・診療所」が四〇%と最も多く、次に「自然に親しめる公園」(三九%)、「交番」(三三%)、「高齢者福祉施設」(三一%)、「図書館」(三〇%)の順になっています。

海老名市の魅力

また、住まいの近くに欲しい施設として、「病院・診療所」が四〇%と最も多く、次に「自然に親しめる公園」(三九%)、「交番」(三三%)、「高齢者福祉施設」(三一%)、「図書館」(三〇%)の順になっています。

望ましい将来像

また、住まいの近くに欲しい施設として、「病院・診療所」が四〇%と最も多く、次に「自然に親しめる公園」(三九%)、「交番」(三三%)、「高齢者福祉施設」(三一%)、「図書館」(三〇%)の順になっています。

また、住まいの近くに欲しい施設として、「病院・診療所」が四〇%と最も多く、次に「自然に親しめる公園」(三九%)、「交番」(三三%)、「高齢者福祉施設」(三一%)、「図書館」(三〇%)の順になっています。

3000人に郵送で 回収率72.6%

調査は、市内在住の二十歳以上の男女約三千人(平成5年10月1日現在)のうち、三千人を無作為に選んで、調査票を郵送で行いました。

調査期間は、昨年十一月十五日から三十日まで、二千八百八十人(回収率72.6%)の方から回答が寄せられました。

調査項目は、二十八項目で、▽定住性・生活環境、▽地域活動とコミュニティ、▽市政への関心、▽広報・広聴、▽海老名の魅力と将来像の四分野にわたって調査しました。

表④ 海老名市の望ましい将来像

自然に親しめる公園	64.0
交通安全	41.0
高齢者福祉	40.1
子育て支援	19.5
環境美化	11.3
防災対策	9.7
その他	4.1
無回答	1.2
特になし	1.7

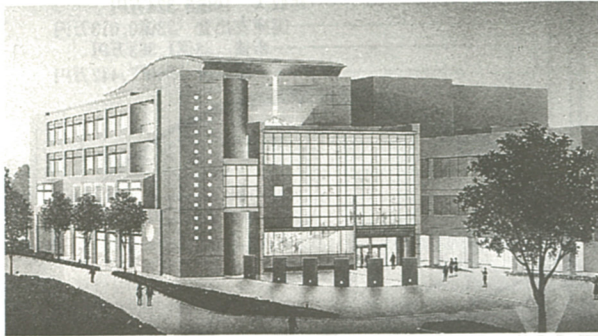
表⑤ 知りたい市政の内容

市政の現状	55.6
市政の将来	48.9
市政の施策	45.0
市政の財政	36.1
市政の教育	32.9
市政の文化	32.4
市政の環境	28.0
市政の交通	24.1
市政の福祉	17.0
その他	4.7
特になし	2.2
無回答	2.7

21世紀を踏え積極的な

財政特集

文化会館小ホール完成予想図



一般会計歳出予算に占める割合の最も大きいものは土木費で百一億九千三百四十四万、全体の三・一％にあたりますが、前年度に比べた約一〇％の減となりました。これは前年度に土木費取得道路改良事業、市営住宅建設事業、国分一号幹線排水路整備事業、公園用地などの事業があったためです。

一番目大きいのが総務費の八十五億六千三百三十二万円で、全体の三・五％を占め、前年度に比べて三・八・九％の増となりました。これは(仮称)市民センター整備事業、文化会館小ホール建設事業、(仮称)門沢橋地区・(仮称)本郷地区並びに(仮称)社家地区のコミュニティ

土木費が第1位

都市づくりと市民福祉の充実

歳出



工事が進む(仮称)海老名中央公園地下駐車場

イセンターの建設事業などによるものです。三番目に大きいのが教育費の四十八億四千五百七十二万円で、全体の三・三％を占め、前年度に比べて七十七万五千円、全体の二・〇％の増となりました。

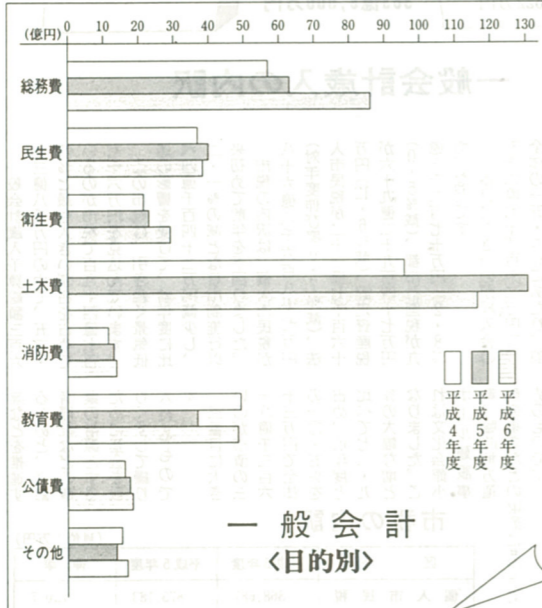
これは有馬小学校増築防音事業、有馬中学校防音改良事業、教育機器指導充実事業などの実施によるものです。

また、民生費は二十七億八千七百七十五万円で、全体の二・四％を占めていますが、前年度に比べ二・五・二％の減少となりました。これは、前年度に海老名市立ワークショップ建設事業や民営鉄道駅舎垂直移動施設整備事業があったためです。

次に衛生費は二十七億九千九百七十四万円で、全体の二・七・七％を占め、前年度に比べ一・六・九％の増となりました。これは(仮称)地域医療センター建設事業、資源分別回収事業などを実施するためです。

なお、性別別にみると歳出予算に占める割合の大きいものは、普通建設事業費の百四十八億三千二百二十二万四千八百八十九万九千九百九十九円(一七・七％)、物件費の四十四億五千七百七十二万九千九百九十九円(四・九％)となっています。

全体としては、前年度に比べ二・六億九千九百九十九円増加し、伸び率も八・〇％の増となっています。第三次総合計画の達成を目指して「まちづくり基金」「公共施設整備基金」などの各種基金や市債を積極的に活用し、都市づくりや市民福祉の向上に充てることとまいります。



まちづくり

財政特集

平成6年度各会計別予算

会計名	本年度予算額	前年度予算額	伸び率
一般会計	3,638,000	3,368,800	8.0%
特別会計	359,583	379,230	△5.2
下水道事業	406,181	324,613	25.1
老人保健医療事業	286,995	285,132	0.7
計	4,690,759	4,357,775	7.6

平成6年度予算が、三・月定例議会で可決成立しました。この予算総額は、一般会計と三つの特別会計を合わせて四百六十九億七千五百九十九万円で、前年度の当初予算総額四百三十五億七千七百七十五万円と比べて七・六％の伸びとなっています。

平成6年度予算編成方針については、四月一日号の「平成6年度の市長施政方針」でお知らせしましたが、今年度は第三次総合計画が策定された四年がたち、改訂実施計画の二年目にあたり、引き続き景気の低迷で厳しい情勢の中ですが、二十一世紀を見据えた都市像「ゆとりと活力のあるまちえびな」の実現を目指して、実施計画の完全実施を進めるための積極的で効果的な予算となりました。

計画創造型の行政を推進するため、健康で生きがいにあふれたまちづくりをかなげる文化のまちづくりの推進に力を入れています。

平成6年度予算編成方針については、四月一日号の「平成6年度の市長施政方針」でお知らせしましたが、今年度は第三次総合計画が策定された四年がたち、改訂実施計画の二年目にあたり、引き続き景気の低迷で厳しい情勢の中ですが、二十一世紀を見据えた都市像「ゆとりと活力のあるまちえびな」の実現を目指して、実施計画の完全実施を進めるための積極的で効果的な予算となりました。

計画創造型の行政を推進するため、健康で生きがいにあふれたまちづくりをかなげる文化のまちづくりの推進に力を入れています。

予算総額は470億円に



次代を担う子供たちのためにも21世紀に向けて着実な「まちづくり」を行います

平成6年度予算が、三・月定例議会で可決成立しました。この予算総額は、一般会計と三つの特別会計を合わせて四百六十九億七千五百九十九万円で、前年度の当初予算総額四百三十五億七千七百七十五万円と比べて七・六％の伸びとなっています。

平成6年度予算編成方針については、四月一日号の「平成6年度の市長施政方針」でお知らせしましたが、今年度は第三次総合計画が策定された四年がたち、改訂実施計画の二年目にあたり、引き続き景気の低迷で厳しい情勢の中ですが、二十一世紀を見据えた都市像「ゆとりと活力のあるまちえびな」の実現を目指して、実施計画の完全実施を進めるための積極的で効果的な予算となりました。

計画創造型の行政を推進するため、健康で生きがいにあふれたまちづくりをかなげる文化のまちづくりの推進に力を入れています。

6年度 主な事業

総務費

- (仮称)門沢橋コミュニティセンター建設事業 五億七〇三六万円
- 地域住民のコミュニティ活動の拠点として、平成五年度からの継続事業で、門沢橋地区に第七館目のコミュニティセンターを建設する。なお、同施設には太陽光発電装置を試験的に設置する。
- (仮称)本郷コミュニティセンター建設事業 四億七千三百八十八万円
- 地域住民のコミュニティ活動の拠点として、平成五年度からの継続事業で本郷地区に第八館目のコミュニティセンターを建設する。
- (仮称)社家コミュニティセンター建設事業 二億一五九〇万円
- 地域住民のコミュニティ活動の拠点として、平成六年度からの継続事業で、社家地区に第九館目のコミュニティセンターを建設する。
- 文化会館小ホール建設事業 二億二九八四万円
- 平成五年度からの継続事業で文化会館小ホールを建設し、芸術・文化の向上を図る。
- (仮称)市民ギャラリー整備事業 三億七九〇〇万円
- 平成六年度からの継続事業で、旧市庁舎敷地に第一生命保険相互会社が建設する施設の市への無償譲渡部分に、市民ギャラリーを整備する。

民生費

- 生活保護事業 四億四七七七万円
- 生活保護法に基づき被保護世帯の最低限度の生活保護と、自立助長の援助をする。
- 精神障害者施設入所措置事業 二億三六四七万円
- 精神障害者を施設に入所措置し、生活指導や作業訓練を行い、日常生活の自立及び社会参加を推進する。
- 給食サービス事業 三九七万円

農林水産業費

- 農業基盤整備事業 一億八四一三万円
- 農業の生産性向上と、経営安定化を図るため、農道・用水路などを改修整備する。
- 水と花と緑のまち整備事業 三三二四万円

衛生費

- (仮称)地域医療センター建設事業 三億二六一五万円
- 平成六年度からの継続事業で、市民の老後における健康の保持と適切な医療の確保を図るため、医療センターを建設する。
- 高層清掃施設組合運営事業 一億五四七五万円
- 三市で構成される高層清掃施設組合の円滑な運営のため、事業費の一部を負担する。
- 資源分別回収事業 一億一九三三万円
- 資源分別回収事業を実施する団体に補助金を交付し、自治会には奨励金を交付し、ごみの減量化・資源化を推進し、地球環境の保護とリサイクル意識の高揚を図る。

労働費

- 勤労者資金融資事業 二億四〇〇〇万円
- 市内勤労者の福祉の増進及び生活の安定を図るために、県労働金庫及び友愛信用組合に運用資金を預託する。

土木費

- (仮称)相模川橋架設事業 二億九〇四五万円
- 相模川橋(通称もぐり橋)に替えて(仮称)相模川橋を厚木市と共同施工で架設する。
- (仮称)台所排水管改良事業 一億三六二二万円
- 駅利用者の安全確保と円滑な車両の相互通行を図るため、かわ台駅前の排水管の改良に伴う工事を委託する。
- 海老名駅周辺対策事業 一〇〇〇万円
- 住民生活の良好な環境づくりと、駅周辺の利便性を考え、まちづくりを実施するため、調査・研究を進める。
- 調査・研究を進める 二五〇〇万円
- JR、小田急、相模の三線を立体交差させるための調査などを行い、一体的な土地利用の誘導と鉄道沿線の除却に伴う交通の流動化、安全性の確保を図る。
- 海老名駅周辺駐車場案内システム整備事業 一五一九万円
- 駐車場案内機を設置し、駐車場探しに要する時間と努力の削減や交通混雑の緩和を図る。
- 河原口地区住居表示事業 八〇一万円
- 河原口の一部であるヒナタウン自治会区域の住居表示を実施し、類似名称などの解消及び都市基盤整備の充実を図る。
- (仮称)海老名中央公園地下駐車場建設事業 一七億二〇三三万円
- 駐車場の不足による違法路上駐車と交通混雑をなくし、安全で円滑な道路交通の確保と都市機能の向上を図る。
- (仮称)泉の森自然公園整備事業 一億円
- 上今泉地区に緑と水を活かした公園の整備を進める。

教育費

- (仮称)ふれあい公園整備事業 七〇〇〇万円
- 今里地区に多目的広場を主体とした公園整備を行い、公園不足の解消と地域活動の拠点としての活用を図る。
- 有馬小学校校舎増築併行防音事業 三九八八万円
- 不足している特別教室を解消し、航空機騒音から授業を守るための実施計画を行う。
- 有馬中学校校舎防音改善事業 八億四二七万円
- 航空機騒音から授業を守るため、校舎の防音改善工事を行う。
- 教育機器指導充実事業 一億六八四四万円
- 高度情報化社会に対応できる児童・生徒の育成のため、教育用パーソナルコンピュータを導入する。
- (仮称)海老名市立有馬図書館建設事業 四億三九五〇万円
- 地域住民への図書館サービスの充実を図るため、平成五年度からの継続事業で門沢橋地区に建設する。なお、この施設は(仮称)門沢橋コミュニティセンターと併設する。
- (仮称)海老名市立有馬図書館建設事業 四億三九五〇万円
- 地域住民への図書館サービスの充実を図るため、平成五年度からの継続事業で門沢橋地区に建設する。なお、この施設は(仮称)門沢橋コミュニティセンターと併設する。
- (仮称)海老名市立有馬図書館建設事業 四億三九五〇万円
- 地域住民への図書館サービスの充実を図るため、平成五年度からの継続事業で門沢橋地区に建設する。なお、この施設は(仮称)門沢橋コミュニティセンターと併設する。

消防費

- 消防車両整備事業 四二〇〇万円
- 消防団の消防車両を整備し、年々増加する各種災害に対する消防力の向上を図る。
- 防災対策推進事業 一億二六六〇万円
- 防災資材・飲料水兼用貯水槽を設置し、災害時に必要となる物資の確保と混乱の防止を図り、災害対策の向上に努める。

一般会計予算の執行状況

Table with columns: 歳入 (歳入), 歳出 (歳出), 予算現額A+B, 収入済額C, 執行率C/A+B. Rows include 市税, 地方譲与税, 利子割交付金, etc.

Table with columns: 歳入 (歳入), 歳出 (歳出), 予算現額A+B, 収入済額C, 執行率C/A+B. Rows include 議会費, 総務費, 民生費, etc.

※△はマイナスを表す

特別会計予算の執行状況

Table with columns: 歳入 (歳入), 歳出 (歳出), 予算現額, 収入済額, 執行率. Rows include 国民健康保険税, 国民健康保険給付金, etc.

Table with columns: 歳入 (歳入), 歳出 (歳出), 予算現額, 収入済額, 執行率. Rows include 分担金及び負担金, 使用料及び手数料, etc.

Table with columns: 歳入 (歳入), 歳出 (歳出), 予算現額, 収入済額, 執行率. Rows include 支払基金交付金, 国庫支出金, etc.

活力あるまちづくり

平成5年度の執行状況

平成五年度予算の一般会計と三つの特別会計を合わせた当初予算額は、四百三十五億七千七百七十五万円だが、その後、補正などにより、現在、四百六十一億六千三百一十一万円となっている。

歳出の執行率は、全体で六四・三％となっている。特別会計は、総務費、農林水産費、土木費が低くなっているが、これは施設の新設、農道・用排水路、市道整備などの工期が年度末であり、未払いとなっているためである。



4月に開館した杉久保コミュニティセンター

ミニシティセンターの建設(仮称・門前橋・(仮称)本郷コミュニティセンター)と文化会館小ホール建設の着手、市民休養施設の管理・運営などを行い、市民の交流及び余暇の場の充実の取り組みが、市立あきは作業所の建設、相模鉄道がみ野駅

に設置されたエスカレーターの建設に対する費用の助成や保育園への入所事業などを行い福祉の向上に努めました。衛生費では、成人病予防対策事業、成人歯科健診事業、資源分別回収事業、生ごみ減量化事業(コンポスト)の購入助成、ごみ収集車の整備などを行い、

農林水産費では、水と花と緑のこみち整備事業、リフレッシュ農地利用推進事業、農業基盤整備事業などを実施しました。商工業では、商工会、観光協会補助事業などを行い、商工業の振興を図りました。土木費では、(仮称)不老名中

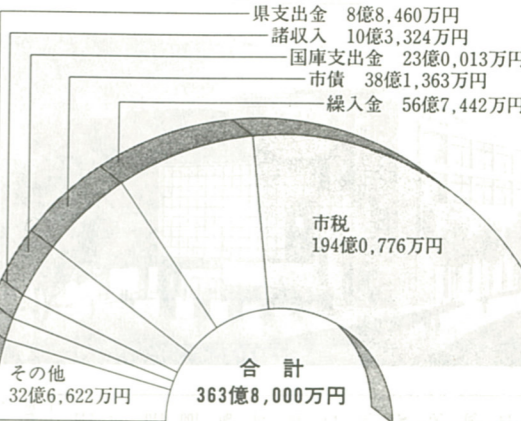
消防費では、防火水龍等消防水利整備事業、飲料水兼用貯水槽設置事業、消防水車整備事業、防災無線整備事業などを行い、防災力の強化に努めました。教育費では、各小・中学校校舎等整備事業、学校給食用食器改善事業、相模国分寺跡地整備事業、遺物収蔵庫建設事業などの実施や、(仮称)不老名市立有馬図書館建設事業の着手などを行いました。



新たな福祉の拠点「あきは作業所」

市税収入は195億円

前年度に比べ2.1%の減



一般会計歳入の内訳

一般会計歳入予算総額三百六十三億八千万円の中で、五三・四％の最も大きい割合を占めているのが市税で四百七十四億七千七百七十五万円です。この市税は、引き続く景気低迷の影響を受けて、前年度に比べ四億四千四百四十二万円減少し、二・一％の減となり市制施行以来初めて前年を下回りました。市税の内訳は、個人市民税が八十六億八千六百八十七万円(対年度伸び率0・7％減)、法人市民税が二十一億七千七百七十五万円(12・6％減)、固定資産税が六十九億二千九百四十七万円(0・5％減)、都市計画税が九億三千二百七十七万円(2・8％増)です。

二番目に大きいのが繰入金金の五十六億七千四百一十二万円、全体の二一・六％にあたり、前年度に比べて二〇・九％の増となっている。これは、文化会館小ホール建設事業(仮称)不老名市立有馬図書館建設事業、臨時地方道路整備事業などの財源にあてられたものである。次に大きいのが国庫支出金で二十三億十三万円、全体で六・三％を占め、前年度に比べて七・〇％の増となりました。今年度の補助対策事業は、(仮称)不老名市立有馬図書館建設事業、小・中学校校舎増築防音改修事業、道路改良工事(仮称)不老名市立有馬図書館建設事業などです。

市税の内訳

Table with columns: 区分, 平成6年度, 平成5年度, 伸率. Rows include 個人市民税, 法人市民税, 固定資産税, etc.

※△はマイナスを表す

市債の現在高

Table with columns: 区分, 5年9月30日現在高, 5年10月1日～4年2月28日借入額, 5年2月28日未償還額. Rows include 総務債, 民生債, etc.

基金の状況

Table with columns: 基金名, 現在高, 備考. Rows include 財政調整基金, まちづくり基金, etc.

市有財産

Table with columns: 区分, 土地, 建物. Rows include 市庁舎, 消防施設, 学校, etc.

市有財産などの状況 平成6年2月28日現在

老人保健医療事業

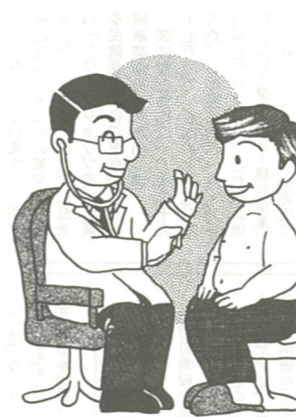
老人保健医療事業は、お年寄りの医療を助成する制度で、医療費の負担は国、県、市、お年寄り自身が負担するほか医療保険制度の各保険者が共同で担い負担するもので、国民健康で安心して暮らせることを目的として医療給付を行っています。受給対象者は七十歳以上の方と、六十五歳以上七十歳未満の障害(一～三級)をお持ちの方で、現在五十五十八人、去年に比べ四・八％増えています。

下水道事業

下水道事業は、都市の健全な発達と公衆衛生の向上を図るとともに、海、河川、湖沼などの公共用水域の水質保全を目的に行われています。お年寄りが負担していた一部負担金は、高齢化社会に向けて、現在の長期的安定のために、現在、外来一カ月千円、入院一日七百円で平成七年四月一日から消費者物価の変動率に応じて改定されます。

特別会計の概要

このからのお年寄りの健康については、高齢者保健福祉計画や各種健康事業との総合的な医療福祉の充実が求められており、医療費の助成とともに、保健相談センターを中心に健康づくりを行っています。これからのお年寄りの健康を目的に行われています。市では昭和四十八年三月から事業に着手し、国の第七次下水道整備五年計画(平成三年1年度)や相模川流域下水道の整備計画に合わせ、早期完成に向けて事業を推進しています。人口の増加による市街地の拡大と流域下水道の整備進展

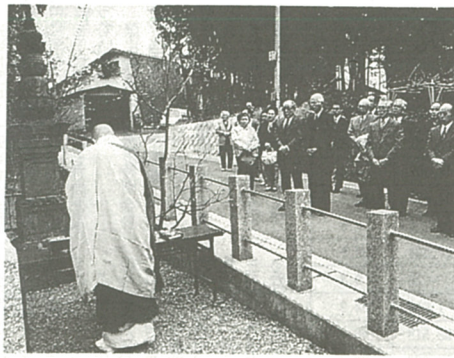


の予算総額は、四十億六千八百一十二万円、前年度に比べて二五・一％の増となっています。国民健康保険事業は、加入者が約六万七千人に達し、互いに助けあうことが期待されています。

国民健康保険の財源は、加入者の収入などに応じて納めていた保険料と、国・県の補助金、一般会計や基金からの繰入金などで賄われています。今年度は、医療費が四・八％、賦課限度額も四十八万円に引き上げます。予算総額は三十五億九千五百八十八万円、前年度に比べて五・一％の減となっています。

初めて父親になる人たちを対象に、4月16日、保健相談センターで父親教室が行われた。当日は、本物の赤ちゃんと同じくらいの大きさの人形を使って入浴練習も行われた。参加者はお風呂の入れ方におっかなびっくりの様子だったが、練習していくうちにだんだんと慣れてきて、「参加して自信がついた」という声がたくさん聞かれた。

▼父親になる実感が...



▲本郷でお釈迦様祭り

4月9日、今は廃寺となった常念寺の跡地の釈迦堂(本郷根地区)で、お釈迦様保存会(鴨志田茂会長)によるお釈迦様祭りが行われた。去年4月に、跡地内の宝篋印塔と石灯籠が、市重要文化財に指定。今回は、披露かたがた記念行事も行われた。

フットピックス



▲選抜野球チーム台湾で活躍
台湾少年野球連盟主催による「第三回国際親善少年野球大会台湾大会」が三月二十六日から四月一日まで台湾の高雄市と台北市で行われた。今回の大会には、有馬小、門沢橋小、社家小の児童九人を含む選抜チームが参加。高雄では、去年のオール台湾優勝チームを相手に、ねほり強い野球で二勝を上げた。結果は二勝二敗。

◀300人がシイタケ狩り

ふれあい農業推進事業の一環として、4月9日、大直しいたけ園(柏ヶ谷1088番地)で、シイタケ狩りが行われた。当日は、家族連れなど約300人が参加。取ったシイタケは廉価で販売されたため、開始2時間後には完売した。参加した市民からは「さっそく夕食のおかずになります」という声も聞かれた。



海老名むかしむかし
電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
4月27日～5月18日 第153話
5月19日～6月9日 第154話



第325話 海老名氏の

ある末流

私が十五年前、「海老名地名考」を出版したところ、各新聞社が反響を取り上げてくれた。その反響の中で「わが家は、海老名氏の末流であり海老名の地は、祖先の地であるからぜひ一本を」との要望が二件あった。一人は、藤沢市の海老名吾という人、もう一人は横浜市緑区の高津野と名乗る方であった。私は、二人の要請にこたえたことはもちろん、海老名氏の子孫ということに非常に興味を覚えた。そして、その確認をしたい衝動にかられた。

翌年、まず藤沢市の海老名氏を尋ねたが既に転居後で、その意を果たすことができなかった。次に、その秋、海老田園都市線青葉台駅近くの高老名家を訪れた。当主の季澄氏は、東京都品川区西五反田のエビナ電機製作所の社長とされている。話を聞いてきたが、その末流であることを確認し、満足して辞去した。

頂いた資料のうち、歴代当主と思われる人物が列記されていたものを基に紹介して見よう。

まず冒頭に
「季貞、源八ト称ス天治元年(一一二四年)七月日不詳相模国高座郡海老名郷二生ル鎌倉幕府二任へ二千貫ヲ以テ下、残念ながら欠落。季忠(すえのぶ)、盛補ト称ス後長門守二任官ス。文治三年(一一一八年)

七年十月鎌倉二生ル頼家、実朝、頼朝ニ従事シ三千貫ヲ領ス。武蔵国久良岐郡金沢ニ戦死ス。年五十二時二曆仁元年(一一三八年)四月十七日。註釈略」

とあるが、季貞との関係が不明である。両者の年齢差六十四年から推察して、この人は季貞の孫に当たると思われる。「季厚(すえよし)、久右衛門ト称ス(中略)鎌倉二生ル後

る。荻野はかつて、季貞の五子季達(すえさと)が会津藩士となり、以後季伴(すえとも)、季方(すえまさ)、季張(すえはる)、季長(すえたけ)、季久と続く。

その次が、かつてNHKの大河ドラマ「獅子の時代」で活躍した会津藩士平沼汎次のモデルになった季昌(すえまさ)である。天保十四年(一八四三年)生れで、大砲組頭だった慶応三年(一八六七)年正月藩主松平容保の命によりパリ万国博覧会の幕府使節の一員に加わり渡欧、明治元年の戊辰戦争直前二十六歳の若さで藩最後の家老に就任し、敗戦後は平沼(現・青森県)に移され、言語に絶する苦勞をした。その後、警視庁警部補、帰県して福島県下の部長を歴任して、明治三十二年には、初代若松市長となった。大正三年、七十歳で波乱に富んだ人生を閉じた。子息に季文(明治十六年生、左力(さりき)(明治二十年生)の二子があり、大正十二年生れの季澄氏はこの二男左力の子だったのである。かつて武家の統領だった海老名氏の子孫の方と一期一会の機会を得た感激は、私にとって今でも忘れがたいことである。

(註)人名のルビは筆者の推説

第325話で「海老名館の敷石の残りの所在が判明すること」を願うと書きましたが、二人の方からご教示をたまわった。一枚は社家の三島神社の手水舎奉納記念碑にもう一枚は船から陸揚げの際、社家の取水せき上流辺りで落したまい沈んでいたのである(池田武治)



江戸期荻野山中藩の陣屋跡(現在の厚木市下荻野)

民間二下り海老名郷二住シ郷士ト成リテ農ヲ業トス。永仁元年(一一九三年)四月死ス。年六十五とあり、文永、弘安の役にともかかわり合ひなく海老名の地に帰農したのである。

季忠は、長命八十歳で延文四年(一一五九年)に世を去ったが、後継者がなかったので足柄下郡早川村(現、小田原市の内海蔵人の三子、左右之介を養子として二女の夫とし、名を季勇(すえたけ)と改めた。「建徳元年(一一三七〇年)六月上杉朝房ノ謀フ所トナリ相模国愛甲郡荻野山中ニ移住ス。爾後子孫海老名郷二掃ラス。応永十七年(一四一〇年)三月没ス」と見え

「光次郎ト称ス。後備次左工門ト改ム(中略)荻野山中二生ル、弱冠ニシテ京都ニ上リ関白二條道隆ニ仕へ歌道ヲ学ビ帰國ノ後祖先ノ故郷海老名ニ遊ビ左ノ和歌ヲ詠ジテ時人ニ嘆賞セラル。あれにけり幾代経にけん故郷の昔をしのぶあとかたもなし。大永元年(一一五二年)三月二十日没ス年八十四」と記す。

次の季睦(すえよし)については「静馬ト称ス後壬生院助ト改ム(中略)京都西洞院二生ル。季孝ト為リ元龜元年(一一七〇年)京都二没ス年五十」とあり、京都市に生れ、要人ト称ス(中略)京都に生ル。禪学ヲ究メテ京外太秦妙真寺執行付ト為リ宝永元年(一一六四年)没ス年六十九とある。その子季昭(すえあ